

東日本大震災での経験を踏まえた広域応援について

平成24年4月27日
長岡市危機管理監
金子 淳一

■今後の広域応援体制について

ー東京電力福島第一原子力発電所事故による広域避難ー

○隣接県、隣々接県等への避難を想定した調整機能の新設

・避難の広域化に対応した国、県による調整機能が必要

○県外都市との災害時相互応援協定の活用

・各市町村が締結している協定での物的、人的支援のほかに、避難者受け入れの項目を追加

・防災訓練への相互参加～

まずは防災担当者から顔の見える関係を構築することで、実効性を確保

■広域避難において重要なこと

ー中越地震や東日本大震災での避難者受け入れの経験からー

○リーダー（首長）による具体的目標の提示

・山古志では村長が「2年で山古志に帰ろう。」と村民に呼びかけ、心をつないだ。

○長期避難を想定し、コミュニティ単位の避難と避難所運営

・避難者は支援を受けるだけでは元気が出ない。

・避難所を自ら運営することで、生きる力、復興への機運が高まる。

・南相馬市でもコミュニティ単位の避難ではなかったため、避難所の自主運営は1か所のみ。

■ボランティアの広域応援

○東日本大震災ボランティアバックアップセンターの設置と活動

・必要な地域に必要な物が届く。

・人のつながりから復興の支援へ。

東日本大震災による避難者、被災自治体に対する支援の状況

平成 24 年 4 月 27 日
長 岡 市

長岡市では、平成 23 年 3 月 12 日に「東日本大震災長岡市復旧支援対策本部」を設置するとともに、被災地からの避難者受け入れのため避難所を開設。また、被災自治体への救援物資の送付、職員の派遣など、被災地の復旧・復興支援に取り組んできた。これまでの支援の概要は次のとおりである。

1 避難所開設期間における避難者支援

(1) 避難者の受入状況

※ 表中の日付はすべて平成 23 年

区 分	開設日	最大受入数 (月/日)	現在の受入数	
【一般避難所】 新産体育館など 5 施設	3/16	3 3 0 人	3/22	6/17 までにすべて閉鎖
【南相馬市避難者】 南部・北部体育館	3/19	5 3 9 人	3/20	6/17 までにすべて閉鎖
【福祉避難所】 ロングライフセンターなど 7 施設	3/19	1 4 1 人	3/27	9/9 までにすべて閉鎖
【介護保険施設】 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など 9 施設	3/22	1 3 3 人	3/24	5 0 人
【二次避難所】 ホテル・旅館等	6/17	1 3 0 人	6/17	9/9 までにすべて閉鎖

○最大受入日・人数：平成 23 年 3 月 25 日 1,061 人

○臨時避難所(9 箇所)開設中の市職員従事者状況：延べ 2,901 人

(2) 公営住宅・民間空き家住宅等の利用状況

避難者の健康やプライバシーが保たれるよう生活環境の向上を図り、日常に近い生活への復帰を支援するため、相談会の実施と雇用促進住宅や公営住宅、また市民からの提供空き家情報などを紹介してきた。

また、公営住宅等に入居する際の「生活支援助成金」として、必要物品を用意する経費の一部を助成してきた。

○雇用促進住宅・公営住宅等：現在の入居世帯 38 世帯

○民間空き家住宅：成約件数 39 件

○生活支援助成金(1 世帯 10 万円)：98 件 980 万円

(3) 市民ボランティア等の活動状況について

社会福祉協議会が中心となり、平成 23 年 3 月 18 日に市民防災センター内に復興支援ボランティアセンターを設置。市民ボランティアが避難所運営支援、救援物資仕分け作業等の活動に従事。

○登録者：1,644 人

○述べ活動人数：3,765 人

○その他市民・団体からの支援活動

・炊き出し支援 延べ 251 団体 31,110 食

・店舗での食事提供 延べ 22 店舗 808 食

・理美容、整体、コンサート、子供遊びなどに多数の申し出があり。

(4) 避難者リフレッシュ事業の実施について

越後川口温泉日帰り入浴、サンローラ川口・蓬平温泉での宿泊入浴など、各事業所の協力を得て避難者リフレッシュ事業を実施。

○利用実績：800人

(5) 避難者の臨時職員雇用について

東日本大震災で被災した長岡市への避難者支援策として、長岡市の臨時職員に雇用。

○雇用者数：25人

○雇用期間：平成24年3月まで

○雇用職種：避難者支援、一般事務、学校施設美化・軽微な修繕業務等

2 被災地への職員派遣

消防（救助、救急）、災害対策本部・避難所の設置支援、上・下水道（給水、復旧活動）、応急危険度判定など9市町に職員延べ349人を派遣。

※ 派遣先：宮城県石巻市、栗原市、仙台市、東松島市、名取市、亘理町、福島県相馬市、新潟県十日町市、津南町

現在も、全国市長会の取り組みとして、福島県相馬市の公共下水道復旧業務に土木技師2名を長期派遣中。

3 東日本大震災ボランティアバックアップセンターの設置

中越地震、中越沖地震など、度重なる災害を経験し、今後の災害に備えて長岡市被災時対応検討会を構成していたメンバーが、それまで重ねてきた検討結果を踏まえて開設。

※ 構成メンバー：(社)長岡青年会議所、長岡市社会福祉協議会、長岡市危機管理防災本部、長岡市国際交流センター、日越コミュニティセンター、(社)中越防災安全推進機構、NPO 住民安全ネットワークジャパン、NPO ながおか生活情報交流ねっと、NPO 多世代交流館になニーナ、NPO にいがた災害ボランティアネットワーク、中越市民防災安全士会

○開設日：平成23年3月17日

○特徴：被災現地から収集した情報を、被災地へ向かうボランティアに提供すると共に、よりの確な物資支援を行う。

○支援内容

- ・被災地の情報収集、発信
- ・支援物資の募集、発送（食料品、紙おむつ等を宮城県石巻市、気仙沼市、女川町ほかへ）
- ・被災地で活動するボランティアへの支援
- ・支援活動のコーディネート

4 現在の避難者支援

(1) 長岡市への避難者数（平成24年4月20日現在、介護保険施設入所者は含まず。）

避難者数 184世帯 492人

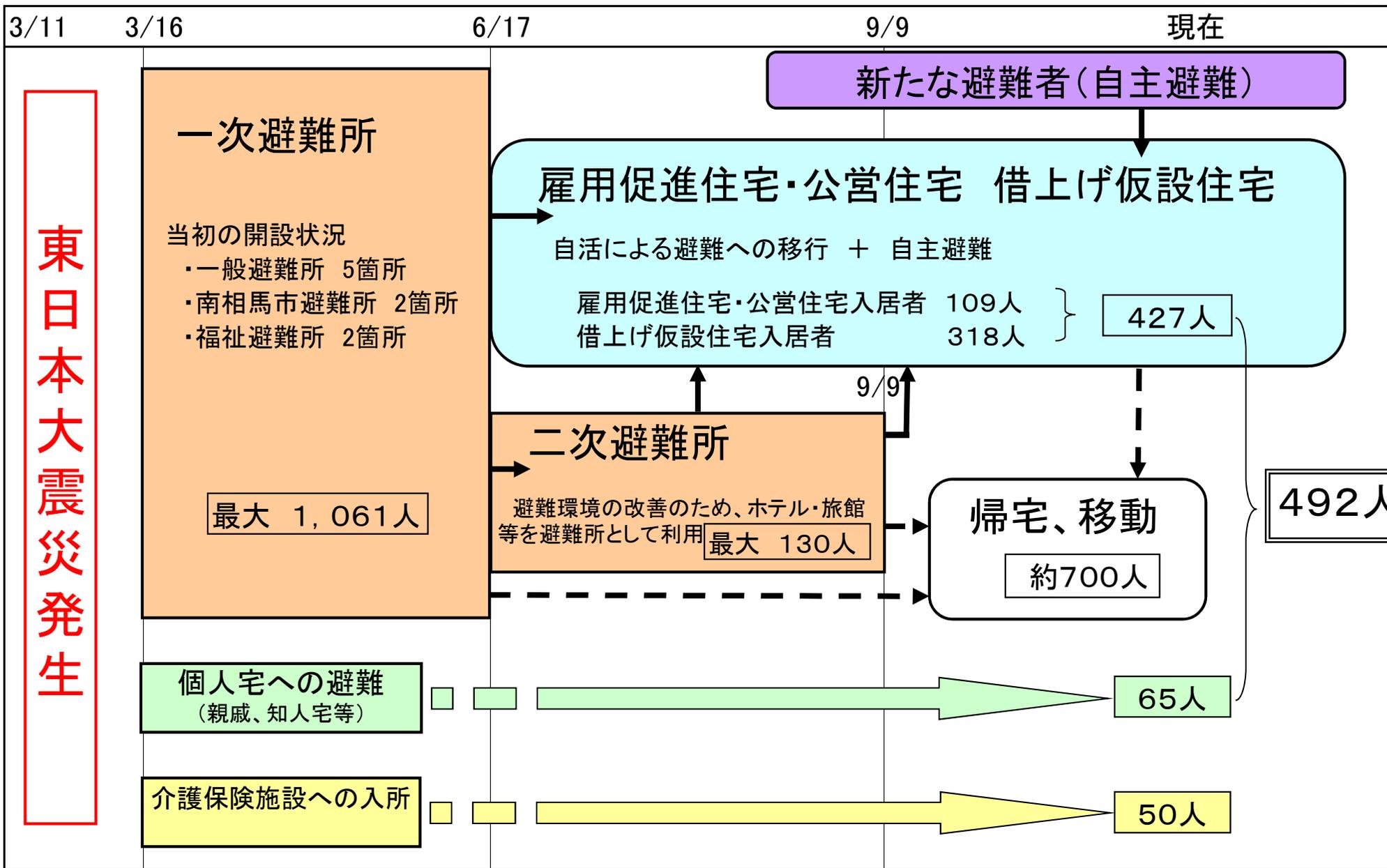
うち65歳以上のみの世帯 13世帯 24人

(2) 避難者支援の状況

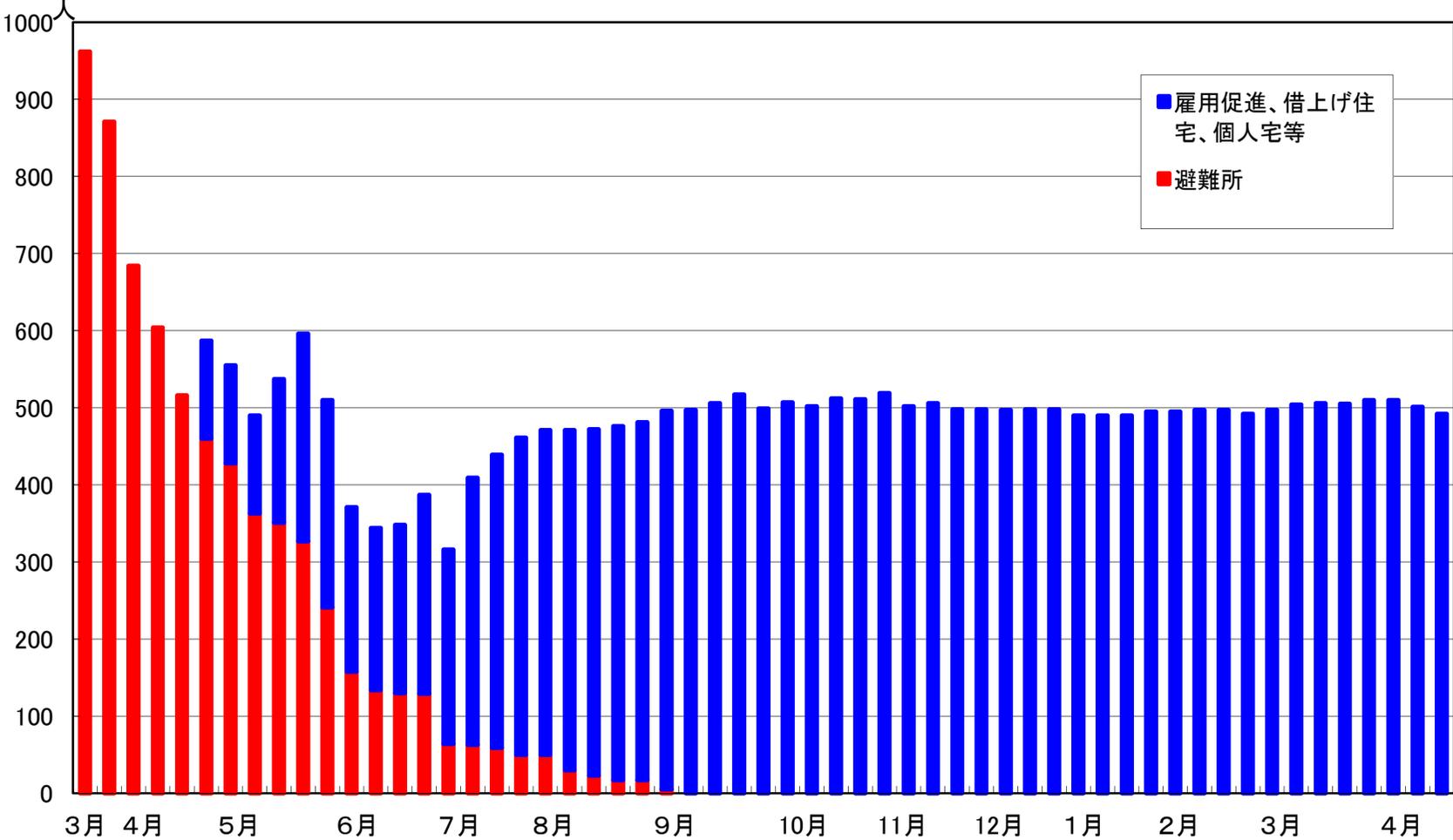
- ① 生活や支援等に関する情報等の提供（連絡文書の定期配布、月2回）
- ② 市・東日本大震災ボランティアバックアップセンターによる見守り
 - ・ボランティアによる巡回訪問（雇用促進住宅等入居の高齢世帯中心）
 - ・高齢者のみ世帯の状況確認（市職員によるボランティア巡回世帯以外への訪問、電話）
 - ・避難者交流施設「まわらんしょ」の運営（市内の空き家を利用、毎週火曜日開設）
ボランティアバックアップセンター主体、新潟県地域支え合い体制づくり事業

東日本大震災による他県からの避難の状況

平成24年4月20日現在
長岡市危機管理防災本部



東日本大震災による避難者数の推移



長岡市への避難者の避難元市町村内訳

H24.4.20現在

市町村名		世帯数	避難者数			
			全体	うち男性	うち女性	
宮城県	岩沼市	1	4	2	2	
	登米市	1	2	2	0	
	宮城県計	2	6	4	2	
福島県	原発避難者特例法 指定市町村	南相馬市	68	190 (約4割)	99	91
		いわき市	20	40	21	19
		双葉郡浪江町	12	41	19	22
		双葉郡富岡町	19	46	22	24
		双葉郡大熊町	9	35	17	18
		双葉郡楢葉町	10	28	16	12
		双葉郡双葉町	3	9	6	3
		双葉郡川内村	2	4	2	2
		双葉郡広野町	1	1	1	0
		小計	144	394 (約8割)	203	191
	指定外市町村	福島市	12	34	18	16
		郡山市	18	43	22	21
		相馬市	1	3	2	1
		二本松市	1	1	0	1
		伊達郡国見町	3	5	2	3
		田村郡三春町	2	3	1	2
		西白河郡矢吹町	1	3	2	1
小計		38	92	47	45	
福島県計		182	486	250	236	
合計		184	492	254	238	

・避難元 2県18市町村

長岡市への避難者の年齢構成

H24.4.20現在

年齢	全体		男	女
0～5	63	全体の 約1/3	35	28
6～11	63		32	31
12～14	21		13	8
15～17	19		10	9
18～29	50		19	31
30～39	111		58	53
40～49	56		29	27
50～59	32		21	11
60～69	45		23	22
70～79	22		11	11
80～	10		4	6
うち65歳以上	50	全体の 約1割	25	25
合計	492		255	237